

参考資料 1

科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会
学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会
(第87回) R1.12.10

マスタープラン2020とロードマップ2017の 評価の観点の比較

学術の大型施設計画・大規模研究計画 に関するマスタープラン2020 ※8), 9) は重点大型研究計画のみ	学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想 ロードマップ2017	
評価の観点	評価の観点	具体的視点
1) 計画の学術的意義(国際性や連携についても観点に含める)		
2) 科学者コミュニティの合意(コミュニティの拡がり及び合意のレベルについても観点に含める)	①研究者コミュニティの合意	・研究者コミュニティの合意形成の状況は明確か。
3) 計画の実施主体の明確性(計画の実施主体の明確性)	②計画の実施主体	・実施主体における計画の推進体制は明確になっているか。 ・多数の機関が参画する場合、責任体制と役割分担は明確になっているか。
4) 計画の妥当性(装置等の開発・製作・設置だけでなく、運用計画とその後の計画(雇用、人材育成等の計画を含む)それぞれに必要な期間や予算措置についても観点に含める)	④計画の妥当性	・計画の準備スケジュール・実施スケジュールが明確になっているか。 ・実施可能なスケジュールとなっているか。 ・建設費及び運用費は妥当か、十分検討されているか。 ・予算計画、人員計画は妥当か、十分検討されているか。 ・計画の準備状況(予備研究・技術開発・体制整備)は着実になされているか。 ・建設終了後の運用計画が十分に検討されているか。 ・計画終了後のコミュニティへの波及効果、将来展望はどうか

5) 共同利用体制の充実度	③共同利用体制	<ul style="list-style-type: none"> ・共同利用・共同研究の実施体制が確立されているか。 ・幅広い大学の研究者が参画できるか。
6) 社会的価値 (国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値、持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献等)	⑦社会や国民の支持	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や国民に計画の意義・必要性を説得力をもって説明することができるか。 ・長期間にわたり巨額の国費を投入することについて、社会や国民の支持が得られるか。 ・地域社会との信頼関係が構築されているか。
7) 大型研究計画としての適否		
8) 成熟度 (上記1)から6)の観点に加え、予算化のための計画準備状況という観点に係る成熟度も含める)※		
9) 我が国としての戦略性、緊急性等※	⑥戦略性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該分野での世界トップレベルの成果をあげ、我が国の強みをさらに伸ばすこととなるか。 ・他分野への波及効果等はどうか。 ・国際貢献や国際的な頭脳循環につながるか。 ・将来的な我が国の成長・発展につながるか。 ・計画を実施しないことによる国の損失はどうか。
	⑤緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に実施することの重要性と国際的競争・協力において、我が国が得られるメリットや優位性は何か。 ・実施の遅れにより危惧される我が国への影響はどのようなものか。